

【提言書の提出】

これまでの調査を踏まえ、産業建設文教委員会として「『本市の畜産業振興』に関する提言書」をとりまとめ、令和6年11月25日に議長へ提出。

同日、議長から市長に対して本提言書を提出しました。



「本市の畜産業振興」に関する提言書（抜粋）

本市は肉用牛の産地として繁殖牛を経営する農家が多く、出荷された牛は全国的に高い評価を得ている。令和5年度の農林産物の販売額を見ても、販売額全体で47億6,428万1千円に対し、畜産の販売額は21億8,258万4千円と全体の45.8%を占めており、本市農業を支える重要な産品であることがわかる。また、平戸で肥育された牛は全国的にも高い評価を得ており、ふるさと納税の返礼品としても好評である。

しかしながら、少子高齢化に伴う飼養戸数の減少、ロシアのウクライナ侵攻に端を発した近年の燃料や肥料・飼料の価格高騰による生産コストの上昇、令和4年度以降の肉用牛の国内需要の冷え込みに伴う子牛価格の下落など、畜産業は大変厳しい状況が続いている。そのような状況の中、本市では経営が困難となった畜産農家においては、飼養頭数の減頭などが行われており、このままでは繁殖牛の産地の維持が非常に難しい状況となっている。

また、畜産農家は飼料などを生産することで、耕作放棄地の発生を防ぎ、本市の農地保全に大きく寄与しているほか、畜産農家から供給される堆肥は、水稻やアスパラガスなど他の品目で利用されており、それらの生産に欠かすことができないものとなっている。さらに、道路や農地周辺の雑草を畜産農家が牛に給与するために採草しており、農村集落の維持にも寄与している。このように畜産農家が離農するという事は、畜産だけの問題ではなく、農業全体の問題であり、畜産農家の経営安定や持続的な畜産経営を図ることは、本市の農業を守るということでもある。

本委員会ではこのような現状や情勢を踏まえ、本市農業の全体の振興を見据え、今後の畜産業における一層の支援・充実を図るために調査を実施した。

このたび、調査研究をまとめ、本委員会として下記事項について提言する。

提言1：畜産業に対する財政支援及び施策

繁殖牛産地の維持が非常に難しい状況の中、すでに畜産経営者個々の自助努力だけでは限界を超えている状況にある。市独自の支援を実施し、畜産農家に対する負担軽減支援を早急に行うとともに、中長期的に計画した施策も検討すること。

提言2：JAとの連携及び関係機関への支援要請

財政支援は、本市独自の取り組みだけでは困難である。JAが果たす役割も大きいので、情報共有や連携を密に行うとともに、国・県に対しても積極的に支援を要請すること。

提言3：肉用牛の産地を守るための対策及び支援

肥育牛の生産量が減少することにより、肉用牛としての産地も衰退していくことが懸念される。一貫生産の仕組みを形成するなど、肉用牛の産地を守るため、市・関係機関が連携を図りながら、対策と支援を講じること。



提言書を含む所管事務調査報告書の全文は、こちらの二次元コードからご覧いただけます

産業建設文教委員会 所管事務調査報告

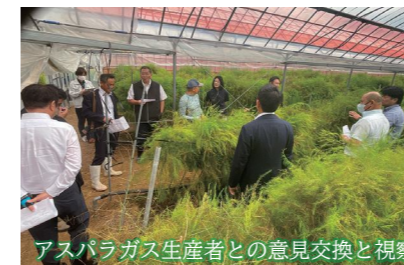
産業建設文教委員会は、本市農業の実情を把握し、さらなる活性化を図ることを目的に閉会中の所管事務調査を実施し、その報告書を令和6年12月定例会に提出しました。

【7月25日所管事務調査】

本市の農業の実情を把握するため、農業振興課から、令和2年に策定した「平戸市農業振興計画」に沿って「本市の農業振興の課題」「農業振興計画の基本方針」「基本方針実現のための取り組み」など全般的な説明を求め、意見交換を行いました。（令和6年11月発行議会だよりvol.76に掲載）

【10月8日所管事務調査】

本市のアスパラガス生産者および肉用牛生産者に対し現場で話を伺うとともに、畜産農家が抱える現状と課題について、関係者との意見交換を行いました。



アスパラガス生産者との意見交換と視察



肉用牛生産者との意見交換と視察



畜産関係者との意見交換

【10月29日 行政視察】

担当課からの説明や現地調査、関係者との意見交換を踏まえ、本市農業振興の喫緊の課題として畜産業、とりわけ肉用牛生産者に対する支援策が必要と考え「日本三大和牛」の一つに数えられる米沢牛の産地である山形県米沢市にて行政視察を実施しました。

（参加者） 委員長：綾香 良浩 副委員長：大村 謙吾

委員：池田 稔巳 井元 宏三 神田 全記 辻 賢治 針尾 直美 松尾 実 松口 茂生

（テーマ） 米沢牛の一貫経営について

（概要） 米沢市は、三大和牛の一つに数えられているブランド牛「米沢牛」の産地であり、米沢市を含む3市5町からなる山形県置賜地区で、恵まれた環境と飼育農家の努力によって生産されています。

この度の視察では、この大産地の事例を参考とし、畜産（肉用牛）経営への知見を深めるため、米沢市役所において概要の説明を受けたのち、実際に米沢牛の一貫経営（繁殖～肥育）を行い、これまで数多くの優秀な米沢牛を輩出してきた「米沢牛いとう牧場株式会社」に伺い、経営の状況や現状の取り組み、課題などについて意見交換を行いました。

※ 10月28日には、宮城県仙台市において、「不登校特例校の取り組みについて」をテーマに行政視察を実施しました。



米沢市役所



米沢牛いとう牧場株式会社



行政視察報告書の全文は、こちらの二次元コードからご覧いただけます